

平成 28 年度 自殺対策支援者研修

医療場面におけるうつ病の早期介入と自殺予防

～ メンタルヘルス・ファーストエイドの理解と活用 ～

現在、厚生労働省は地域医療の基本方針となる医療計画に盛り込むべき疾病として、「四大疾病」に精神疾患を加え「五大疾病」としており、精神疾患への対応法の確立は重要な課題となっています。しかし、多様なタイプのうつ病の増加、自殺の問題、認知症患者の増加に伴い、精神科医や精神科医療従事者だけでこれらの疾患に対応するのは難しく、精神科以外の医師・医療従事者との連携が不可欠となっています。

今回の研修では、精神科へつなぐ前の初期対応として、「メンタルヘルス・ファーストエイド」をご紹介し、病棟での対応に関するビデオを用いて、特にうつ病患者への対応について解説します。

(講師) 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学分野
九州大学 先端融合医療レドックスナビ研究拠点

特任准教授 加藤 隆弘 先生

日 時 平成 29 年 3 月 9 日 (木) 13:00～16:00 (開場 受付 12:30～)

会 場 北九州市総合保健福祉センター「アシスト 21」 2 階 講堂
(北九州市小倉北区馬借一丁目 7 番 1 号)

対象者 医療職の方(職種は問いません)

申込み 裏面の参加申込書にて、FAX または郵送でお申込みください

定員:40名 (先着順) / **申込締切**:2月27日(月)必着

本研修会は、平成 28 年度 日本医療研究開発機構(AMED)障害者対策総合研究開発事業「精神疾患患者早期介入のための医療従事者向け研修プログラム開発－メンタルヘルス・ファーストエイドの応用－(代表加藤隆弘)」の一環として開催いたします。

※ 「メンタルヘルス・ファーストエイド (こころの応急処置)」とは

メンタルヘルス(心の健康)問題を抱える人に対して、専門家による支援の前に提供する初期支援のこと。オーストラリアではすでに十数万人もの市民が習得し、精神保健に貢献しています。治療者になるために学ぶのではなく、心の健康にかかる症状をどのように認識し、初期支援をどのように提供し、適切な専門家支援へどのように導くかを学ぶためのものです。

北九州市立いのちとこころの支援センター 行
(FAX 093-522-8776)

※送信票等は不要です。
参加申込書のみ送付ください。

平成28年度 自殺対策支援者研修 「医療場面におけるうつ病の早期介入と自殺予防」

(開催日:平成29年3月9日(木) 13:00~16:00)

参 加 申 込 書

所属機関名		
TEL	FAX	
職種	氏名	ふりがな

« 申込締切 平成29年2月27日(月) »

- * 定員40名（先着）です。
- * 定員に達し次第、受付を終了します。
- * お申込み多数により参加していただけない場合に限り、ご連絡いたしますのでご了承ください。
- * 公共交通機関や近隣の駐車場をご利用ください。

＜問い合わせ・申込先＞

北九州市いのちとこころの支援センター（担当:地家、田仲）

〒802-8560 小倉北区馬借一丁目7番1号（精神保健福祉センター内）

TEL:093-522-8729 ·FAX:093-522-8776